

アジア文化研究所活動報告  
(2013年1月-2013年12月)

1. 公開講演会

1. M. ウィリアム・スティール先生 最終講義「日本との出会い：1960年代と学生運動」M. ウィリアム・スティール (ICU、教授、歴史学) 2013年2月18日 歴史学デパートメント主催、アジア文化研究所後援
2. 「明治期における主権と革命——東アジアの政治的変化の一つの事例分析——」Robert Eskildsen (桜美林大学、准教授、歴史学) 2013年3月13日 歴史学デパートメント共催
3. 「落語にみる江戸下町の笑いと絆 (つながり)」柳亭左龍 (落語家) 2013年6月5日 ミドルベリー大学主催・アジア文化研究所後援
4. “Korean Churches in Beijing and Tokyo: Nation Culture, and Politics in Contemporary Missionary Work,” Edward Park (Asian Pacific American Studies Program Professor, Loyola Marymount University) 2013年6月18日 歴史学デパートメント共催
5. 「落語にみる江戸と笑い」柳亭左龍 (落語家) 2013年10月17日 日本史Ⅱ特別授業、アジア文化研究所後援

2. アジア研究フォーラム

1. 「『文化遺産』の旗のもとに——カンボジア、アンコール遺跡を巡る幾つかの言説——」田畑幸嗣 (上智短期大学、東南アジア考古学・美術史) 2013年1月15日
2. 「英仏による1860年の中国侵攻：西洋の軍事技術と外交に対する中国人の認識」Ines Eben v. Racknitz (南京大学歴史学科、歴史学) 2013年2月19日
3. 「『汎アラブ主義』を再考する：国民国家とアラブ・ナショナリズム」井堂有子 (東京大学大学院総合文化研究科博士課程、中東地域研究・開発学) 2013年9月17日
4. 「津波の後の海と生活——タイ・アンダマン海洋民モーケン、ウラク・ラウォイットを中心に」鈴木佑記 (東洋大学、アジア文化研究所客員研究員)、ウィチャユット・リマンクーン (民族写真家、タイ) 2013年12月17日

3. その他

1. 第1回飲食文化研究会 2013年3月23日 於東ヶ崎潔記念ダイアログハウス国際会議室 飲食文化研究会主催 アジア文化研究所共催
2. Anthropology of Japan in Japan (AJJ) 主催秋季ワークショップ 2013年11月9日、10日、於東ヶ崎潔記念ダイアログハウス アジア文化研究所共催
3. 日本・タイ津波復興展示会「津波のあと、語り継ぐもの——日本3年タイ9年 企画展」2013年12月19日-23日、於三鷹市芸術文化センター、アジア文化研究所・三鷹市後援

4. シンポジウム

第12回東アジア実学国際学術大会「東アジア世界の「知」と学問——伝統の継承と未来への展望——」国際基督教大学アジア文化研究所・日本東アジア実学研究会共催、勉強出版後援  
2013年11月23日(土)・24日(日) 於東ヶ崎潔記念ダイアログハウス国際会議室

11月23日 司会 古藤友子、別所興一

挨拶 小島康敬 (国際基督教大学アジア文化研究所所長)

基調講演「始めに心ありき：実心実学の認識論」小川晴久 (日本東アジア実学研究会会長)

基調講演「中国古代の「知」の性質と学問」張踐 (中国実学研究会会長、中国人民大学)

基調講演「儒教文化圏における「知」の進展と退縮」金彦鍾 (韓国実学学会会長、韓国高麗大学)

「中国の「反知性主義」思想の根源と原因を論じる：先秦時期の儒道の知識論思想に基づく」

王杰 (中国中央党校)

「『百工の知』と『士大夫の知』を簡単に論じる」汪哲 (中国上海交通大学)

「18世紀郷村知識人の自我構成：魏伯珪の場合」金文鎔 (韓国高麗大学民族文化研究院)

「村井琴山の琴学受容と「実学思想」」中尾友香梨 (佐賀大学)

「『毛詩品物図考』の出版と日中書物交流」陳捷 (総合研究大学院大学)

「1711年の辛卯通信使行と加賀藩の学術交流：加賀藩文士・伊藤薪野を中心に」河宇鳳（韓国全北大学）

11月24日 司会 小島康敬、大橋健二

「渡辺崋山の学問観と教育思想：主に漢籍から得た学識と小関三英提供の蘭学情報との関連・異同について」別所興一（元愛知大学）

「東アジアの伝統的な「知」の教育：儒教的「教育」体系論と「実践知」韓睿嫻（韓国朝鮮大学）

「フクシマと「無用」の哲学：熊沢蕃山とハイデガーにおける老荘的な脱 Ge-stell への道」大橋健二（日本東アジア実学研究会）

「「知の問題」と「哲学の合法性」との関連：「近代知」の反省にあるべき一視点について」林美茂（中国人民大学）

「実学視野から見る儒学知行学説」苗潤田（中国山東大学）

「朝鮮王朝時代後期における女性と「知」の問題：文字の問題を中心に」朴茂瑛（韓国延世大学）

「最近韓国での実学研究の現状と展望」金時鄴（韓国実学博物館館長）

「中国思想の「徳性の知」を論じる」単純（中国政法大学）

「実生活の学問と芸術：与謝野晶子にみる」古藤友子（国際基督教大学）

次回開催国挨拶 金彦鍾

閉会の辞 小川晴久

## 5. 出版物

『アジア文化研究』39号（2013年3月30日発行）

編者まえがき

研究論文

特集：**Overcoming Vicissitudes: The Tohoku Region in Modern Japan**

The Great Northern Famine of 1905–1906: Two Sides of International Aid

..... M. William Steele

The 1909 Akita Tour and the Formation of a Positive Modern Identity ..... Patricia Sippel  
Regional History and International History: From Hara Katsurō to Ellsworth Huntington

..... Kawanishi Hidemichi (Translated by Hiraku Shimoda)

特集：**Trans-Pacific Expertise, Trans-Pacific Lives in a Time of Rupture**

Women's Education and the World: Fujita Taki (1898–1993) ..... Sally A. Hastings

Catalyst for the Professionalization of Librarianship in Postwar Japan: Naomi Fukuda

and the United States Field Seminar of 1959 ..... Koide Izumi

Journeys in Thought: Chō Takeda Kiyoko and the promotion of U.S.-Japan intellectual

exchange ..... Vanessa Ward

太平天国北伐軍の敗退と援軍の臨清攻撃 ..... 菊池秀明

The Emergence of a Nature Conservation Ritual: Local Negotiation with Environmentalism  
in Northern Thailand ..... Nishida Masayuki

幻の邪馬台国——魏略と魏志の間—— ..... 蓮沼啓介

「古今和歌集」仮名序前の真価を探る——「六義」と「歌のさま」の問題を中心に——

..... 大野ロベルト

悲哀の色——永井荷風が描く男と女の情景—— ..... 中野真理

哲学か、それとも理学か——西周の Philosophy 概念の翻訳問題をめぐって——

..... 林 美茂

目録紹介

近代日本の日記帳——故福田秀一氏蒐集の日記資料コレクションより——

..... 田中祐介・土屋宗一・阿曾 歩

アジア文化研究所活動報告

執筆者紹介

## 6. 長清子アジア研究学奨励賞（Friends of ICU 指定寄付）

2013年3月：港 就太「富永仲基の歴史意識」教養学部アーツ・サイエンス学科、歴史学専攻

名取果歩「箱根駅伝におけるスポーツ・ナショナリズムの変遷：「国民的行事による「日本人らしさ」の生成」教養学部アーツ・サイエンス学科、日本研究専攻

## 7. 人事動向

1. 所長  
2013.4 小島康敬教授就任
2. 所員  
2013.1 Walter Dawson 准教授就任  
村上むつ子非常勤講師就任  
2013.4 江田早苗客員准教授就任
3. 研究員（無給）  
2013.4 稲垣亜紀子（東北大学大学院、文化交流史）(2013.4.1–2014.3.31)  
豊島悠果（神田外国語大学、朝鮮史）(2013.4.1–2014.3.31)  
岡本佳子（ICU、歴史学）(2013.4.1–2014.3.31)  
2013.9 星野文子（ICU、比較文化、文化交流史）(2013.9.1–2014.3.31)  
Gina Yanxia Zhao (School of Cultural Studies, University of Wales Trinity Saint David, Comparison of Religious) (2013.11.1–2014.3.31)
4. 準研究員（無給）  
2013.4 張 玲玲（北京外国語大学、近代日本史）(2013.4.1–2014.3.31)  
井堂有子（ICU、中東史）(2013.4.1–2014.3.31)
5. 秘書  
2013.2 渡辺公美子就任

## 8. 構成員（2010年12月31日現在・ABC順）

1. 所長 小島康敬（歴史学、教授）
2. 所員  
Walter Dawson（比較教育学、准教授）  
江田早苗（言語学、客員准教授）  
Matthew A. Gillan（音楽、准教授）  
黄 仁相（経済学・経営学・開発研究、上級准教授）  
池田理知子（メディア・コミュニケーションと文化・日本研究、教授）  
生駒夏美（文学、上級准教授）  
加藤恵津子（人類学、上級准教授）  
菊池秀明（歴史学、教授）  
古藤友子（哲学・宗教学、教授）  
Tzvetana Ilieva Kristeva（文学、教授）  
Mark W. Langager（比較教育、准教授）  
John C. Maher（メディア・コミュニケーションと文化、教授）  
Shaun K. Malarney（人類学、教授）  
Heather A. Montgomery（経済学・経営学、准教授）  
村上むつ子（ジャーナリズム、サービス・ラーニング、非常勤講師）  
那須 敬（歴史学、准教授）  
Csaba Olah（歴史学、准教授）  
尾崎(渡邊)久美子（言語教育、講師（課程准教授））  
佐藤 豊（言語教育、教授）  
Giogiandrea Shani（国際関係学・政治学、准教授）  
M. William Steele（歴史学、献学60周年記念教授）  
高澤紀恵（歴史学、教授）  
田中和子（社会学、教授）  
田仲康博（メディア・コミュニケーションと文化、上級准教授）  
Wilhelm M. Vosse（平和研究・政治学・国際関係学、上級准教授）  
Gavin H. Whitelaw（社会学・人類学、准教授）  
Richard L. Wilson（美術・考古学、教授）

3. 顧問 長(武田)清子、葛西實、源了圓
4. 客員所員 原喜美、飛田良文、稲垣滋子、森本光生、中村妙子、染谷臣道
5. 研究員

Robert Eskildsen (桜美林大学、近代日本史) (2013.4.1-2014.3.31)  
蓮沼啓介 (ICU、法学) (2013.4.1-2014.3.31)  
早川朝子 (東都医療大学、ドイツ近世史) (2013.4.1-2014.3.31)  
星野文子 (ICU、比較文化、文化交流史) (2013.9.1-2014.3.31)  
稲垣亜紀子 (東北大学大学院、文化交流史) (2013.4.1-2014.3.31)  
姜 海守 (韓国啓明大学校、日韓思想史) (2013.4.1-2014.3.31)  
金山梨花 (ICU、行政学) (2013.4.1-2014.3.31)  
北嶋 裕 (ICU、歴史学) (2013.4.1-2014.3.31)  
李 曉東 (中国社会科学院、日本思想史、日本文化) (2013.4.1-2014.3.31)  
李 正美 (慶應義塾大学、歴史学) (2013.4.1-2014.3.31)  
李 迎紅 (桜美林大学、中国文学) (2013.4.1-2014.3.31)  
林 美茂 (中国人民大学哲学院、ギリシャ哲学) (2013.4.1-2014.3.31)  
眞嶋亜有 (ハーバード大学、近代日本社会文化史) (2013.4.1-2014.3.31)  
松中完二 (九州産業大学語学教育研究センター、言語学) (2013.4.1-2014.3.31)  
御巫由美子 (ニューヨーク大学、政治学) (2013.4.1-2014.3.31)  
宮永國子 (ライシャワー日本研究所、社会人類学) (2013.4.1-2014.3.31)  
宮沢恵理子 (ICU、歴史学) (2013.4.1-2014.3.31)  
森 葉月 (ザグレブ大学、日本思想史) (2013.4.1-2014.3.31)  
西田昌之 (ICU、人類学) (2013.4.1-2014.3.31)  
岡本佳子 (ICU、歴史学) (2013.4.1-2014.3.31)  
大澤広晃 (ICU、イギリス史) (2013.4.1-2014.3.31)  
尾辻恵美 (シドニー工科大学、社会言語学) (2013.4.1-2014.3.31)  
朴 炳建 (ICU、比較哲学) (2013.4.1-2014.3.31)  
Vivek Paul Pinto (ICU、アジア史) (2013.4.1-2014.3.31)  
Kenneth R. Robinson (ICU、日韓関係史) (2013.4.1-2014.3.31)  
坂元ひろ子 (一橋大学、近現代中国思想史) (2013.4.1-2014.3.31)  
先崎彰容 (東日本国際大学、近代日本思想史) (2013.4.1-2014.3.31)  
菅原未宇 (ロンドン大学バークベック校、歴史学) (2013.4.1-2014.3.31)  
鈴木孝子 (大妻女子大学、近代日本思想史) (2013.4.1-2014.3.31)  
田畑幸嗣 (上智短期大学、考古学) (2013.4.1-2014.3.31)  
高崎 恵 (ICU、文化人類学) (2013.4.1-2014.3.31)  
玉置 拓 (ラフバラ大学、国際政治) (2013.4.1-2014.3.31)  
田中祐介 (明治学院大学、近現代日本史) (2013.4.1-2014.3.31)  
谷村玲子 (ICU、日本文化史・日本思想史) (2013.4.1-2014.3.31)  
豊島悠果 (神田外語大学、朝鮮史) (2013.4.1-2014.3.31)  
宇野彩子 (ICU、歴史学) (2013.4.1-2014.3.31)  
吉岡史朗 (New Castle University、近現代日本史) (2013.4.1-2014.3.31)  
Gina Yanxia Zhao (School of Cultural Studies, University of Wales Trinity Saint David、比較宗教学) (2013.11.1-2014.3.31)

6. 準研究員

井堂有子 (ICU、中東史) (2013.4.1-2013.3.31)  
岸 佑 (ICU、日本近現代史) (2013.4.1-2013.4.31)  
仲條大亮 (ICU、音楽学) (2013.4.1-2014.3.31)  
小原美夏 (ラフバラ大学、政治学) (2013.4.1-2014.3.31)  
大岡響子 (東京大学大学院、文化人類学) (2013.4.1-2014.3.31)  
徐希定 (北京大学、アジア研究) (2013.4.1-2014.3.31)  
竹下和亮 (ICU、フランス近代史) (2013.4.1-2014.3.31)  
呉倩 (北京語言大学大学院 中国近代教育史) (2013.4.1-2014.3.31)  
吉村武典 (早稲田大学、中世アラブ・イスラム史) (2013.4.1-2014.3.31)  
張 玲玲 (北京外国語大学、近代日本史) (2013.4.1-2014.3.31)

7. 研究助手（非常勤）
  - 鄭 戴勲（歴史学）
  - 宮沢恵理子（歴史学）
  - 岡本佳子（歴史学）
  - 高崎 恵（人類学）
  - 田中祐介（歴史学）
8. 秘書（非常勤）
  - 相川興子、松村有子、渡辺公美子

## Activities of the Institute of Asian Cultural Studies January 2013–December 2013

### 1. Open Lecture

1. Prof. M. William Steele's last lecture "My Encounter with Japan: Students and Protest in the 1960s," M. William Steele (ICU, History), February 18, 2013, co-sponsored by the History Department.
2. "Sovereignty and Revolution in the Meiji Period: A Case Study in the Modern Political Transformation of East Asia," Robert Eskildsen (J. F. Oberlin University, History), March 13, 2013, sponsored by the History Department.
3. "Humor and Community as seen in RAKUGO," Ryūtei Saryū (Rakugo performer), sponsored by C.V. Starr-Middlebury.
4. "Korean Churches in Beijing and Tokyo: Nation Culture, and Politics in Contemporary Missionary Work," Edward Park (Professor, Loyola Marymount University) June 18, 2013, sponsored by the History Department.
5. "Humor and Edo as seen in RAKUGO," Ryūtei Saryū (Rakugo performer), October 17, 2013.

### 2. Asian Forum

1. "Under the banner of Cultural Heritage: Discourse on the Angkor Historical Monuments in Cambodia," Tabata Yukitsugu, (Sofia University Junior College, Archaeology), January 15, 2013.
2. "The British and French China Expedition of 1860: Chinese Perceptions of Western Military Technology and Diplomacy," Ines Eben v. Racknitz, (Nanjing University, Department of History), February 19, 2013.
3. "Pan-Arabism' Revisited: Nation State and Arab Nationalism," Ido Yuko (Graduate School of the University of Tokyo, Middle Eastern History), September 17, 2013.
4. "Living with the Sea after the Tsunami: Monken and Urak Lawoi People of the Andaman Sea, Thailand," Suzuki, Yuki (Asian Cultures Research Institute, Toyo University, Ph.D., Visiting Fellow), Wizchayuth Limungkoon (Thailand, Photographer) December 17, 2013.

### 3. Others

1. The first meeting of Inshoku-bunka kenkyūkai, March 23, 2013. International Conference Room, Kiyoshi Tōgasaki Memorial Dialogue House. Sponsored by Inshoku-bunka kenkyūkai, co-organized by IACS.
2. Anthropology of Japan in Japan (AJJ), Regional Workshop in Autumn, November 9, 10, 2013, supported by IACS.
3. Art and Academic Exhibition on Japan-Thailand Tsunamis "After Tsunami, Embracing Japan-Thailand Tsunami Experiences", Mitaka City Arts Center, December 19–23, 2013, supported by IACS and Mitaka City.

### 4. International Symposia

"Higashi ajia sekai no 'chi'to gakumon: Dentō no keishō to mirai eno tenbō," twelfth annual international meeting of Higashi ajia jitsugaku gakkai, November 23, 24 2013. International Conference Room, Kiyoshi Tōgasaki Memorial Dialogue House, co-sponsored by Higashi ajia jitsugaku gakkai and Bensei syuppan. (See pp. 101~102)

### 5. Publications

*Asian Cultural Studies*, Vol. 39 (March 30, 2013)  
Editor's Introduction

## Research Articles

### **Overcoming Vicissitudes: The Tohoku Region in Modern Japan**

The Great Northern Famine of 1905–1906: Two Sides of International Aid  
..... M. William Steele

The 1909 Akita Tour and the Formation of a Positive Modern Identity  
..... Patricia Sippel

Regional History and International History: From Hara Katsurō to Ellsworth  
Huntington ..... Kawanishi Hidemichi (Translated by Hiraku Shimoda)

### **Trans-Pacific Expertise, Trans-Pacific Lives in a Time of Rupture**

Women's Education and the World: Fujita Taki (1898–1993) ..... Sally A. Hastings

Catalyst for the Professionalization of Librarianship in Postwar Japan: Naomi

Fukuda and the United States Field Seminar of 1959 ..... Koide Izumi

Journeys in Thought: Chō Takeda Kiyoko and the promotion of U.S.-Japan  
intellectual exchange ..... Vanessa Ward

The Defeat of the Taiping Northern Expeditionary Army and subsequent siege  
of Linqing by Reinforcements ..... Kikuchi Hideaki

The Emergence of a Nature Conservation Ritual: Local Negotiation with  
Environmentalism in Northern Thailand ..... Nishida Masayuki

The Vision of the *Yamatai*-Kingdom: Creation of the Historical Imagination  
..... Hasunuma Keisuke

Validating *Kanajo of Kokin Wakashū* : With a Focus on Issues Concerning

“*Rikugi*” and “*Uta no Sama*” ..... Ono Robert

The Color of Hiai: Nagai Kafū's Imagery of Lovers ..... Nakano Mari

Philosophy or Neo-Confucianism: On Nishi Amane's Translating “Philosophy”  
..... Lin Meimao

## Catalogue and Commentary

Diaries in Modern Japan: A Catalog of Handwritten Items in the *Fukuda Hideichi  
Diary Collection* ..... Tanaka Yūsuke, Tsuchiya Sōichi, Asō Ayumi

Activities of the Institute of Asian Cultural Studies (January 2012–December 2012)

List of Contributors

## **6. Kiyoko Chō Academic Award in Asian Studies** (Designated through Friends of ICU)

March 2013 Minato Shūta “Historical Thought of Tominaga Nakamoto,” Division of  
Arts and Sciences, History.

Natori Kaho “Sports Nationalism in the Hakone Ekiden: The Invention  
of ‘Japaneseness,’” Division of Arts and Sciences, Japan Study.

## **7. Personnel**

### 1. Director

April 1, 2013 Prof. Kojima Yasunori (Professor of History)

### 2. Institute Members

January 2013 Walter Dawson, (Comparative Education) joined the Institute.

Murakami Mutsuko (Service Learning) joined the Institute.

April 2013 Eda Sanae (Linguistics) joined the Institute.

### 3. Research Fellows (non-salaried)

April 2013 Inagaki Akiko (Graduate School of Tohoku University, History)  
(2013.4.1–2014.3.31)

Toyoshima Yuka (Kanda University of International Studies, His-  
tory of Korea) (2013.4.1–2014.3.31)

Okamoto Yoshiko (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)

September 2013 Hoshino Ayako (ICU, Comparative Culture) (2013.9.1–2014.3.31)

November 2013 Gina Yanxia Zhao (School of Cultural Studies, University of



- Wales Trinity Saint David, Comparison of Religious) (2013.11.1–2014.3.31)
4. Research Associates (non-salaried)
    - April 2013 Zhang Lingling (Beijing Language and Cultural University, History of Modern Japan) (2013.4.1–2014.3.31)
    - Ido Yūko (ICU, History of Near East) (2013.4.1–2014.3.31)
  5. Secretary
    - February 2013 Watanabe Kumiko joined the Institute.

## 8. Members of the Institute, as of December 31, 2012 (Alphabetical Order)

1. Director:
  - Kojima Yasunori (Professor of History)
2. Institute Members:
  - Walter Dawson (Associate Professor of Comparative Education)
  - Eda Sanae (Visiting Associate Professor of Linguistics)
  - Matthew A. Gillan (Associate Professor of Musicology)
  - Hwang In-Sang (Senior Associate Professor of Economics/Business/Development Studies)
  - Ikeda Richiko (Professor of Media, Communication and Culture/Japan Studies)
  - Ikoma Natsumi (Senior Associate Professor of English Literature)
  - Katō Etsuko (Senior Associate Professor of Anthropology)
  - Kikuchi Hideaki (Professor of History)
  - Kotō Tomoko (Professor of Philosophy and Religion)
  - Tzvetana Ilieva Kristeva (Professor of Japanese Literature)
  - Mark W. Langager (Associate Professor of Comparative Education/Education, Media and Society)
  - John C. Maher (Professor of Media, Communication and Culture)
  - Shaun K. Malarney (Professor of Anthropology)
  - Heather A. Montgomery (Associate Professor of Economics/Business,)
  - Murakami Mutsuko (Part-time Lecturer of Journalism, Service Learning)
  - Nasu Kei (Associate Professor of History)
  - Csaba Olah (Associate Professor of History)
  - Osaki (Watanabe) Kumiko (Lecturer of Language Education)
  - Satō Yutaka (Professor of Language Education)
  - Giogiandrea Shani (Associate Professor of International Relations/Politics)
  - M. William Steele (History, 60th Anniversary Professor)
  - Takazawa Norie (Professor of History)
  - Tanaka Kazuko (Professor of Sociology)
  - Tanaka Yasuhiro (Senior Associate Professor of Media, Communication and Culture)
  - Wilhelm M. Vosse (Senior Associate Professor of Peace Studies/International Relations/Politics)
  - Gavin H. Whitelaw (Associate Professor of Sociology/Anthropology)
  - Richard L. Wilson (Professor of Art and Archaeology)
3. Advisors:
  - Chō Takeda Kiyoko, Kasai Minoru, Minamoto Ryōen
4. Senior Research Associates:
  - Hara Kimi, Hida Yoshifumi, Inagaki Shigeiko, Morimoto Mitsuo, Nakamura Taeko, Someya Yoshimichi
5. Research Fellows:
  - Robert Eskildsen (J. F. Oberlin University, Japanese History) (2013.4.1–2014.3.31)
  - Hasunuma Keisuke (ICU, Law) (2013.4.1–2014.3.31)
  - Hayakawa Asako (Tohto College of Health Sciences, History) (2013.4.1–2014.3.31)
  - Inagaki Akiko (Graduate School of Tohoku University, History) (2013.4.1–2014.3.31)



Hoshino Ayako (ICU, Comparative Culture) (2013.9.1–2014.3.31)  
 Kan Hae-Soo (Keimyung University, The Institute for International Studies, Japan Studies) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Kanayama Rika (ICU, Administrations) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Kitajima Yutaka (ICU, History) (2013.10.1–2014.3.31)  
 Li Xiao-Dong (Chinese Academy of Social Sciences, History of Japanese Thought) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Lee Jeong-Mi (Keio University, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Li Ying-Hong (J.F. Oberlin University, Chinese Literature) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Lin Mei-Mao (School of Philosophy, Renmin University of China, Philosophy) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Majima Ayu (Harvard University, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Matsunaka Kanji (Keiai University, Linguistics) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Mikanagi Yumiko (Columbia University, Politics) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Miyanaga Kuniko (The Human Potential Institute, Anthropology) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Miyazawa Eriko (ICU, History of Modern Japan) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Mori Hazuki (University of Zagreb, Japanese Intellectual History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Nishida Masayuki (ICU, Anthropology) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Okamoto Yoshiko (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Ōsawa Hiroaki (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Otsuji Emi (University of Technology, Sydney, Sociological Linguistics) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Ken Byung-Kun Park (ICU, Comparative Philosophy) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Vivek Paul Pinto (ICU, Asian History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Kenneth R. Robinson (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Sakamoto Hiroko (Graduate School of Social Sciences, Hitotsubashi University, History of Modern Chinese Thought) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Senzaki Akinaka (Higashi Nippon International University, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Sugawara Miu (University of London, History) (2012.4.–2013.3.31)  
 Suzuki Takako (Ōtsu Women's University, Intellectual History of Japan) (2012.4.1–2013.3.31)  
 Tabata Yukitsugu (Sofia University Junior College, Archaeology) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Takasaki Megumi (ICU, Cultural Anthropology) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Tanaka Yūsuke (ICU, Modern Japanese History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Tamaki Taku (Loughborough University, International Politics) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Tanimura Reiko (ICU, History of Modern Japan) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Uno Ayako (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Toyoshima Yuka (Kanda University of International Studies, History of Korea) (2013.4.1–2013.3.31)  
 Yoshioka Shirō (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Gina Yanxia Zhao (School of Cultural Studies, University of Wales Trinity Saint David, Comparison of Religious) (2013.11.1–2014.3.31)

6. Research Associates:

Idō Yūko (ICU, History of Near East) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Kishi Yū (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Nakajyō Daisuke (ICU, Music) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Obara Mika (Loughborough University, Politics) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Ōoka Kyoko (Graduate School of the University of Tokyo, Cultural Anthropology) (2013.4.1–2014.3.31)  
 Seo Hee-Jung (Peking University, Asian Studies) (2013.4.1–2014.3.31)

- Takeshita Kazuaki (ICU, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
Wu Qian (Graduate School of Beijing Language and Cultural University, History of  
Modern Chinese Education) (2013.4.1–2014.3.31)  
Yoshimura Takenori (Waseda University, History) (2013.4.1–2014.3.31)  
Zhang Ling-ling (Beijing Foreign Studies University, History) (2013.4.1–2014.3.31)
7. Research Assistants:  
Jung Jae-Hoon (History)  
Miyazawa Eriko (History)  
Okamoto Yoshiko (History)  
Takasaki Megumi (Anthropology)  
Tanaka Yūsuke (History)
8. Part-time Secretaries:  
Aikawa Kyōko  
Matsumura Yūko  
Watanabe Kumiko